この議門職

て、鉄原が、ひょき酸のよう

乾傷一世に高き執政閣下には 変出度く満州帝副第一世の宿 変出度く満州帝副第一世の宿 変出度く満州帝副第一世の宿 を養敵をもれて満州國の副龍 を養しなったとい、同時に昭有 を表しなったといる。

謹みて登極

を慶祝す

三月一日に實に備州副建國第二月年記念日に富さ、この古と日トし乾徳高き執政淳氏では、王道官布の天命に進由しは、王道官布の天命に進由して経由して経由して経典を集け、満洲副建國第二

脚件の世の世の世

即位式に當り

所懐を述ぶ

即かせ給ひし眞意義

これ情観者の評論に付すべき 外交易大臣一副介石

中土壁下は大側心を仁厚に置かせられ、下を刺る絵ふことがせられ、下を刺る絵ふことを知いして天候の刺標明に加る性が強炭の暫にあるを見るに忍ばせられず九五の食薬をに忍ばせられず九五の食薬をには、特に絵念を注がせられて消の行在所時代による地の、関 なの如き天津行在に奉仕する 中間を享くるもので、雰にな はせられ機然さして平日 られたるが、此に民党 得心により、故に天の仲志と

御慶びの

をして料一明天安民の聖泉成の茲に映古っ 遠 藤 柳 作

中、世界に続ける種々不安の 大変ける基準の動態を改め、同じく で発来の動態を改め、同じく 本利互助の大海に進むである

をも、歌句がは、 も解除は、どこへやら、令は、 ・脚である歌舞・夏にその下に ・脚である歌舞・夏にその下に ・動きで、脚つ窓に汚れた歌に り果てた他一の今の残であった。 関語で戦い、内本部行の計覧として も増して、あまりにも鍛まし 東: 東州里市町の地形も、 と思り果ていしまつたが、それに でみた城一に取っては、ままに取り出の深い土地である。 けれど と、おうじて、祝祝風へ辿り着い その流形里に、五年以上も住ん

けれどのなり、外で一般する戦 この歌かとみえる歌ましい歌 をいまは、何歳といつて、身を寄せいまは、何歳といつて、身を寄せていまは、何歳といつて、身を寄せているでもつたらなけ、時間の棚にでもなつたらなけ、場合の安容を職べてみようと思っていません。 この間の路を、処りついある すべて世橋へ引揚げてしまつ の本件行も、そして同僚たち

着いては世界 常に関歩を一

て彷徨ひ歩いてゐたものか、とに から突然、戦の夜の間にまざれ かし今夜とメにそれ以来の数を現

一世で兵火の院職をうけて以 がはれて、彼を聞まし、難いて 前には、なつかしい妻子の野 取びは酸のため、野中に 野 のやうとした時。いつも彼の 彼はわづねと、こ

1の動脈の関い、 間が一瞬である動脈の動物の動脈が、 間が一瞬 でで、更け取ってるる。

死んでも、妻子を捜し出すまで ととでは無かつたのだ。」 に苦しみながら、としへ来る 洲の脱載と駆ひ、違って来る といふ、火のやうなない

時最内建物全部場所尾上町のパン製造選具はノ

市証者の市警住宅

の家庭戦闘又は日本諸銭授等の家庭戦闘又は日本諸銭授等

は福日組で、電話三人の二番合心組成の現在認識の度しお似る

奉

曠古の御大典を壽き奉る

御盛儀参切諸賢より此の

賜り期日内に各納入し

得

たるを無上の光染と致す

して厚く御禮申述候

意義ある醴服敷々御用

命

印刷二大社

金融工股 新京公司 全庫電話四九三〇 木店電話三〇六七番

・ 単電 1大10番

加藤葬儀社

親切な薬量は中央薬店 郷京表が二丁目

个店 大阪" 支店京館

話二二二四番

寅

洋帳簿 各種與本事門 三卷里三九九

電話四人人の書 は、一般 単五四 既利にて金融致し

川質品安曹 例 多 屋 自 石種自轉車 日本トランス

話!四二 車 店 版を行

本は明から満州里まで、 野田百 が里の土を寄ませたのであった。 するほどのその間を、抗核の

て、那~辿り着いたのであつ 刺すぞうな現安僧の吹撃に

題じます。取り種様。但以外のであり、

世人上の

料理を入新京和洋グス

(党川芳三郎書)

委員會結果が未

は直接訪問して鈴木總裁に後が解表を提出すれば驚騰首相が解表を提出すれば驚騰首相

情から

首相 蔵會終了後改造か總辭職! けるか

元老の意響が問題

を任文相を置くが 関連されての映らべく では、登録の内閣

の責任を負みて財政を提出すの責任を負みて財政を招き不徳

が、節木田教言

出される・ ては鳩山女 さしなつたが。

間の結果、文化の条任

の人閣問題

1 さの間では

建退問題に難し女相の 政府瓦解ない限り實現か 一解任一雄いで親て

「東京國典」 未研院に於ける 関本一巳 宜間委員曾は二十八 日間題の女相及び城切大戦政 務次官に對する質調あつて事 務決官に對する質調あつて事 を歌の態度を決定し委員長に

るべく元老の意典其他四個の改置を行ふかを決する事さな 一見て一個の方が より入間の懸論を

岡本、江藤兩君 處罰されん

山崎氏等橋氏の呼び撃が高いの候補者さしては弦月氏又はではないかき馴られ、その時ではなり氏又は

に何んにもない。

文相の辭表提出

三日と内定

こまになった (東京國通) 綱紀問題で撤退を任 日されて密・鳩山文相(東京國通)綱紀問題で撤退を任 日されて密・鳩山文相

て前十時世七分開育、淺田良(東京國語) 貴院領集機會は

は政際な すより常分外頭油を買貯め 地でだけで三十年後の需要 がらぬは風に一千英區も出 がただけで三十年後の需要 がらぬは風に一千英區も出

飛行機射擊

の通時編集関体延いては對調での通時編集のみな6中日英語の放機業のみな6中日英語の決裂は軍に

行領値さしては

一、民間會額は第四大會輸を 外交折頭により動面展開を が交折頭により動面展開を 全部成に ・ (東京領通) 経費の國際商業者 なつた ・ (東京領通) 経費の國際商業者 なつた

石油問題其他で

タシ優遇ス詳細面談ノ上技工手書生年齢廿歳前後

王急届人

新京大和通六五

質疑相繼ぐ

で、一麻肚英代表部を引張からい。 は折衝の声音を使つる事 場が衝の声音を使つる事 場が衝の声音を使つて安 場が衝しに起よ現在 であるが何しに起よ現在

心境を語る文相 世院の豫算案 大の同解された政府制出推算 大の同解された政府制出推算 大の同解された政府制出推算 大の同解された政府制出推算 日英民間會商

かの後任に就ては首相が考 の後任に就ては首相が考

岡本氏の

事官及びペリ正金銀行支持長一輪房通貨實際には松山商務参

自弁氏を出席せしめる事に決

安協の餘地なく

を虚構な事質にあいたをは配 を虚構な事質にあいたをは配 を虚構な事質にあいたをは必 をはいる。 をしる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはしな。 をはしな。 をはし。 をはし。 をはし。 をはし。 をはし。 をはし。 をはし。 をしと。 をし。 をしる。 をしる。 をし。

の態度を決定した 会では一日駐英岡田首府代表 决裂は必然と

サンスタア編集圏の主張は の私的折衝では安協の徐平 なく決裂の他なし、最後方 対を明示されたし

で重大調酬を仰いで来たので をよ最後的重大決意を表明す をこさらなり三日主甲聯合委 日常変に輸出總系布同業會委 日を決か頻響し、甲便二号更 に合同協議會を剝き、我警察

第四次會議は愈よ决裂の時

排ってるも、即ち現在紡績等 こが善後處置に深甚の柱室を

國際通貨

私は今日あるを初めから即 (東京國道)一日朝議院副会使 外交員急 感激して語る

談ありたし

新京富士町一丁目一番地

千歲方。

子

食料専賣品右御希望のお方は至急御來

代表部對策の重大請削を仰ぐ 四場三十分景列車で開連したなほ八田嗣總数は数日週れて開連の豫密 駒井前參議

◆久下沼英氏(簡単腕刑事課 量) - 日午後四時三十分競 大きへ 本林總券(前線)二日午後四時 三十分争大連へ

事主水



不法の極み

から射撃を受け嫌縦士の左 飛行中突加ツ島側の領土内 飛行中突加ツ島側の領土内 では、ころに向って の上生を西から東に向って の上生を西から東に向って

題討伐の地上が除る

事中の我信祭費も帰日回増カ山の土卵 背前に擦過鏡側を買 より射眼を受けた事 残る所公

太田大使に訓電

の空家整備。且つ民間の養なく間民の仕事だ、陸海軍なく間民の仕事だ、陸海軍

育ちに改正する考べはない高機術相 大陸質成であるが

廣田外相、

份兴

留局

海田男 横側の跳防は張橋ないさ首相は云つたが端州の 要地を残窟部を敷機頭撃の 成れありて考ふべまだ。我 頭の横州に終ける空中調防 は質弱だが空中調策磁立の ため機構を数優するや ため機構を数優するや

相談してやつてゐる

事實は諸母道により確認せ の機関銃をもつて射撃した

動であるさ認めざるを似か もあるにも拘らず全くこれ を裏切りたる不信不法の行 を裏切りたる不信不法の行

高橋蔵相 従来内地の石油業 お園は多数の油田を

水の心臓で軽減するご作日

から彼から不評が出て來る

司令官更迭

領土上冬を飛行中の島軍機格のため黒雅江右岸線機関 (テテハル関語) 一日鑑地に保事を引きさが更迭されたさの事で、前の令官が更迭されたさの事で、前の令官プリュフへの事で、前の令官プリュフへか持軍は軒米大使に任命をれたさ

陸軍當局憤然どして語る

現代の如きは絶動にないと ・止むを得ない。よつて皇 ・止むを得ない。よつて皇 ・止むを得ない。よつて皇 ・注意を探ひつつあり。 劉喰

満洲を承認すべきだ

6れ御居賓に還御遊登極の式典を終へる

英國は速かに

モーニングポスト紙の社説

小 店 員 募 集 東京無線新京支店

午便五坪五十三分教會した。

或

特價金一圓也

松田齒科病院

(コロムビアレコードメー!)

武百官、一般地方民ら百余名は何れる晴れやかに参入、畏き御沙汰に感激して退下内外の使臣を宮廷府に召され、第一里宴を賜つたがこの日が召しの光榮に浴した文化を無事に果した晴れやかな色が浮んでゐる、當日正午より畏くる。皇帝陛下には下の御禰足もさこそと肯かれるが、御大典第二日の宮廷府はさずがに瑞氣溢れ壯殿下の御禰屋をさこそと肯かれるが、御大典第二日の宮廷府はさずがに瑞氣溢れ壯殿大滿洲帝國建國史の第一ページを飾る登極の御儀を滞りなく終らせられ、新皇帝陛 なほ三日の第二要宴には鄭總琳以下百四十名がお召しの光景に浴する筈である

荷を下ろした首都新京 典第二日

- たさい融合をお手頂から鏡 はまた城内から附属地へ附属- たさの融合をお手頂から鏡 はまた城内から附属地へ附属 けふも終日大賑ひ

饗宴第一 日 川大使から説詞

に需要した

り持二隻宴り投り本使以下駐

ける外賓賜宴に 国位の 古の興盛典を永久に大議開管國第一世島帝陛下興

カンプックに記念切手される 印念品やスタップをもつて りきする者、配念品やスタップをもつて

テ以テ主トナス、図=9位ニ上タ利害關係ノモナラス、淺見タリ、除悉フェ我オ東 洋傳統ノ精神の性レ道義系統我用翻共同利害ノ關係ア以テ結合スト、 此レ賞ニー裁ノ 以来貴國の熱誠ナル援助ノ致ス所ニ由レリ、今股、躬子以テ祗尹聚命ヲ承ヶ寅テ禍あヲ建ヲ、 叙シ股カ心深タ欣悅ヲ感ス。近時一般ノ精論成ナ前ヲ貴シテ以テ特ニ蹇宴ヲ設け貴大使及在艦ノ精賞ト一堂ニ歓 賜はりし

機業青は全頭で共真組印刷し、一個限して骨も削けた。一度の切れて午後は一名一枚限もに

日滿間に公文交換

昨日菱刈大使、鄭總理の名で

に付護力相類し度く候、* 大使に向っし知服するさ共 大使に向っし知服するさ共

齊樂首相談

滿洲鄉人教師幾大臣

帯なる関係の金々深厚を加帯の金々深厚を加

典に際し護みで語る 東京開通) 療養質用は一日

何即位の大典に祝念をだす

帝さなり君主前を立て候。一日執政登価に満洲帝間皇一日執政登価に満洲帝間皇

縣德元年三月一日 孝 日本帝山特徵金爾大使

大典寫具、日補合同旗行列、高書場の群集、金特別市長の挨拶(園における奉祀大田の大田の大田の大田の場

金文左の加き公文を以て答へ右に刺し菱刈大便は折り返し 月一日附春館を以て漁州圏以書館啓上致鏡陳者キ甲三 天教に使い庶民教学の程に倍

会は五時間に且る協議の結果 おつた。然るに日本体経理事 あつた。然るに日本体経理事 大曹数加を要望し、日本体はの支持に使って支那を戻るせしめ満層があかれを要望し、日本体はした。日本体はして大會を開催せしむるか、若して日本が大會に適用したののこさを希望した。要するに適用しからこさを希望

||一日間に耳つて日本人側は西||でまた端人側は饗宴構造産販京に終ける地方場騒は今明|| 庚辺小母校。 新京義等女庫 網葉書ミ記念 何れも光榮に感激 昨日中に り、その第一日(二日)定制正 「東京職通」 天皇陛下には 横洲國の即位神大奥に祭し 新皇帝に献し神原篤なる御 戦略を御殿機謀はされたが 首相給め陸相 *** その他 関係は鄭國動権悪大臣に討 を殺せらる **即即位御祝電**

にて飛ぶや 全部賣切 二十四合計二千八百十二四 可以三百九十二四、十级切手四百五十四、六线切手四 可从三线切手四 一种切手八百

淅洲國皇帝し

君主制樹立に

の手を通じて約五千枚の往文があり、アメリカから二枚の 住女があつた、名目は「胎側 では窓口だけでなく別に大同 では窓口だけでなく別に大同 文があつて、この分でも各種

なは同日はの手は三種切手を うな有様

方賜餐第

けふ各食場とも晴れやかに

那料理店で開かれるこましな大陸参与よび金配飯店の各支

の呼びものであつた假装行列 は以外の優秀なものが練る出 の呼びものであつた假装行列

代表して左の如う質数を膨脹が値が圧して左の

元典室に整実地方場供終了

50

去る仕大日大成前の新京 即増増大佐は二十七分等の、東傷を負つた研究官

放場少餐は石川縣の人で明 は兵站監部錦州出場用是さし切積を下げ、隊に熱河作戦に開発名事でに出動して輝くい 韓町四丁目編束電第五號官舎 新京火排場において茶吡に で徴読のうへ同三」 官舎出 告別式は 四日高女で

危禍の堀大佐 少將に任ぜらる

廿七日遂に逝去

京高等女単校課堂におい執行は半進青出録、同二時より新年進青出録、同二時より新年の上詞一

日本体協理事會 郷名譽主事鮮職せん

たが、之より先満所領体育協工時季丸の内中央亭に開かれ 体育協會理事會は廿八日午後 **少大智事加問題を決する日本** 〔飛京超通〕 梅見オリムピラ 文書一國の央京を

つて領洲岐蹬島さ日本體略さ するこさもなつた

來軍司令部 嚴委自長 调

現に向つて精理

最密座下の資金

紀左の説明を辞

棒星せる

大神間道)流域では満州間 (大神間道) 流域では満州間 制介石閣下

X9二三條船客股偏船 門司、神戸(大阪)行

概の好なぎ(十一) (百八十八) 上雅上演 (槍)長谷

●二黒の人 誠心に神宿る警

東き戌さ王が吉 東き戌さ王が吉

三三三三三三 月月月月月月月月 十十十十 五四二一十八六四 日日日日日日

師用なんで書はれる時はねえん 事が判った。別木田上新門と一 武士は、東面館と低つてか、 を吐かしやアがるんだ。万公 野び遊手に取った心首で、東ケ 「何をしゃアがる」 其時には断者の手には間の輪が動 やうと曲者は起らうとした。 んとした時、精方は其手を放して 道はれるまった、唯一のに選れ

の将へ及つてよった。

はい道つた五六人が、十手を以近い道つた五六人が、十手を以近のた五六人が、十手を以近のた五六人が、十手を以近のた五六人が、十手を以近がある。 力田せに棚尻を引いた。 ・七首を跳て捕御を切ら 脱者は力録ってドターリ、機構 るも除分の廻り路をする日九黄の人 目的地には選す

帯をも質価すべき幸運の日 富めりさて晴ら

りて一家一門益々繁榮の日 意氣消沈して目

何を政務長せえ。田倉の水ツ栗

首はもう打磨されてゐる。

しから謝多打に十字の歌舞で、

的の成功を明し続き衰運日

新京にも

東氣分の

のは間は、日城セメ

ノトカラー

容器一封度、五封度鑵

ロッは御中越

和

公司

電話四七九〇香

責任を以つて推奨出來る

一度お越しを願いま

亭境

電話三人二〇番

糖がは七

新意日日析叫社 111100番 北澤製版外

もがよろし

京 暖門學公 風

生道房械 逸 陶 用 材 工 品料具 料器 日本機通大〇 には三二五七の 行

Zast: Hilliotinanningengennungenschutz

高級最新型

金城一限。

取揃へてあります

新荷豊富に

南京水祭町三丁口

鹿

谷

齒

電新 科 呼京 科

影上

不此 在庫豐富東門的新京日本橋通九二電話IIIIIB **鳥羽洋行自動車用品部**

查滿洲支店 **大連市山縣通一八二番地東京日本橋通室町二丁目一番地**

一億圓(全額拂込膏)

內科。 **産婦人科、耳鼻咽喉科** 外科、花柳病科





食料品と は

野殿、吹りゅるぞう

市

てもうそれと 知られ ちゃ 百年日

りした一人は、灰外の歌が

大照似したる、実験版の三五郎

で観念がつた。で観念がつた。





れされたか大地にドウと触れた。

さて来い。近路つたら町つ町る

おの際を大きかやられたらしいよ

かた。折しも風も果ぎ配も小学物がな形心してか、さつと道を

引上げるらしい。

助者は切歯をして、地間太暗ん

術放与は乳酸者の手管をして!

「アツ」と一人の消滅は、何識を

「修設は一人だけか」 「大船折らせ居った」

十手を以て、残しく揺撃った。

「ソレラ、柳物を持つたぞ」

窓に版者は十重二十重の間に配

中央頭の選挙 いるの

临科 智學士 內田清三郎

.

田医院

配の時にもキラリと光つた。

ヒデ日本内地人ガ書夜兼行待機ノ姿勢デ御待チ皆様ノ足トシテ奉仕スル富士屋タクシー新車権 修理二應ジマスのは、この九七番 人好去以

富士屋旅館直營

富士屋タタシー

富士屋タクシ

曙町二丁目卅一 〈東一位頭交番題

一九二九年から打破く世界的 不況は、一九三四年に入つて たよ庶民階級の

安定な状態にある国産即も国

政府成行を

「東京関連」オランタ駐在武 「東京関連」オランタ駐在武

耐観に决定す

しをけ

衆議院眾算總會 一日午前の

さ品数すれば

(ロンドン仕八日夜間通) 満 供守監備袖ロイド柳は二十八 保守監備袖ロイド柳は二十八

召集が必要さ載見一致した のため國東審価會を設くべき のため國東審価會を設くべき

部すべきであらう。 イギリイギリス吹析は前州観を承

新法案の通商擁護の

乙はナテス 政権の 掘

果、 政府でして は英國側の 散 物省采栖通商局長で協調の結 物省采栖通商局長で協調の結

表は出席を見合せ暫く野県す を要請された三日の耐策委員 を要請された三日の耐策委員

(リ京副通) 農村製幣の農林 省追加強体を審議する栄酵院 者追加強体を審議する栄酵院 教体線 14二日午前十時四十 元分明會、政友會の河野一郎 元分明會、政友會の河野一郎

てゐるが具體的方法につい 根本方針では一致し

向が明確でない

るこさに決定した

割雪は三月一日より電館

政君より二二参考賢科の楊出さ答へ、次で政友會の砂田重

政君より二二参考

は帰さしたが過去十少年間 は帰さしたが過去十少年間

の央裁 を終た 後間日中に法 を決定したので二日高橋離相 を決定したので二日高橋離相 を決定したので二日高橋離相

る日本帝國を別さし、

慶すべきは

東洋的な政治形態

においては、陸 梅十数萬の城とを急ぎ、関 承組織の完成に

になつたが、欧府さしては同時戦協議會には参加せぬ事

間当)政府は別項の知

て未だ打開の遺はいくらでても民間相互の統合に依つ

機にも除食してのなど ければ貯蔵の必要はないで 場出す必要もなく又その時 ければ貯蔵の必要はないで

随任植序局技正(任七等)各

局面

打開はいくらもある

オランダ政府

日闡綿業當

業者會議を切望

して貯蔵役職は常に必要で

英國は卒先

D

等)派北條特別基金署書數處

英國保守黨領袖ロイド卿語る

相 助戦金を出して密貯

駐蘭武富公使公電

き通告し来った

対野君 | 籾貯蔵は統制法補鑑 | 対野君 | 籾貯蔵は統制法補鑑

英豊商は未だ序幕であっ

間なみ質理をもつ王

「英會商のど

前途に

府期待去

で棄てず

野外政策一新され の創建を機に 發揚される滿洲帝國の威容



中で、是の故に臭客佑を垂れるに天牛聖智購倒の奇功を宏らに天牛聖智購倒の奇功を宏いて、伏して以

惟するに 皇帝陛下功九重に溢れ歌四及に贈

日の助を以て玉者捷に委し大浦州震曳い

つて而して乳族にい

を啓かん事を、臣等誠歌被喜れ風俗香、願くは萬年の景源の品香、願くは萬年の景源

員を代拠し版みて親を奉り以に勝らんや、臣満帰國編和會

大典當日の

関する調照外十五件を一括上れより総務以育教師庫支持に

協和會を代表

於て群村序集、百職交修な6中して四邊底定す。

大典當日の北平

満洲國旗燦然と飜る

その全貌をみる

友邦議溯國の皇紀の無劉を響院は一齊に折抦の春日和に留氏は一齊に折抦の春日和に

光輝を放って恰も混濁の民に市に在つてい、ナン松さし一〇 所被所に揺られて居る間隙部

生氣を與へ、新帝の御威徳か

(北午二日發國通) 康德元年

き翻る五色族は各國々族の此

「上書二日健園通、満州帝國の を主で支那街に臨時城令を布含 まで支那街に臨時城令を布含 まで支那街に臨時城令を布含 まで支那街に臨時城令を布含 は一部に浸源な綿貫が億へも

湖洲國許令 粉捐品事務官 服 信 夫 稅捐品事務官 服 信 夫 稅捐品事務官 服 信 夫 稅捐品事務官 服 信 夫

八等)《奉天物務監督署事務官(贈任

ぎ奉った。春日和の下に翻刷

侍從武官

に闘する件

國務機器大臣

太令は廉郷元年三月一日より

第二條 特從武官是以待從武 等工條 特從武官是以待從武 等工條 特從武官是及待從武 官は制度を奉し演習其の他 軍事を觀察す 軍事を觀察す 電話に在りては宮門府 の諸規定に進ふへし

計でも三月一日から質能され

胸れなかつた

「東京開巡」外務省人事員 た

務省異動

帝政祝賀文可决

以で決したいで語り可決。その流に動する観賞女を陪舗を 昨日の貴院本會議

を設け海職での組織権限は た動令を以て観視の新設成 に動命を以て観視の新設成 に動命を以て観視の新設成 情事(ロスアンピッス) 情報が第一課長を命ず 第分 できる できるか

や連用する他これに多かの の関ロ特性理伝の校繁規定 を は近く時期を命ずるの元サンフランシスコ線 両事を行っては目下時期中の元サンフランシスコ線 両事をのせられる名

南洋を含む は内地の他朝鮮

綿業代表松 平大使に

中の恐呂病的荒唐集権の祀事 言論機関も亦主なるものは殆

派佛州稅捐給即務 () () () ()

を掲けて居るに過ぎない

大同二年度

横唐蜀事所官(商任五零)

高樹 女吳

豫算更正

天氣氣氣

低零下十三字四、三日の天気

東美閣下 · 本 泡 孜 · 本 泡 孜 食料品八 丸平洋行

▲立雛印 ▲內地產 菊正宗の姉妹酒 地玉子 農林省 白 酒 小大 瓶瓶

ニリットル入一本三圓六十錢 灣路酒日滿菜(新發賣)

新京 土 地建物會

社

金物の御用は何でも揃ふ店

類類物式類

… 取扱品目 其他荒物 三笠町二

五月十四日に開催

機首仰望して居りよした 日間期間々氏が限を挙げて 日間期間々氏が限を挙げて 終つた夏び

が一時に胸に迫るを斃へまが一時に胸に迫るを斃へまがは暴到者一同無限の歌裏那は暴到者一同無限の歌裏

聯盟の満洲國

不承認諮委會

政友團結派

司法の職係各省に提示打合社に、外務、商工、農林、拓祭

こに目前にあるのだ

態度强硬

政体定まれば一

國家定まる

鄭總理大臣謹話

於ていさも感欲深く左の如く四十分、鄭國務總理は答結に四十分、鄭國務總理は答結に非出度く終つて一日午便零時間もの大道

整保給沸騰し、結局政策の迷 行間は一日午後六時より日比 行間は一日午後六時より日比 行間は一日午後六時より日比

百物店

枯二二四〇

右骨見の際には大使はこれに で前の斡旋方に献き軽い重味 の訓令が本省より来て思るが

東縣馬爾里縣代第住宅 東縣代第住宅 電更住宅 二大〇月 11大七七月

特徴された後級を誇る朝の画

朝日機不時着

民を受養さ幸福の遊に導っ に似たり、天意に依る 直 に似たり、天意に依る 直 に似たり、天意に依る 直 を示す量の如く、陛下の世 を示す量の如く、陛下の世 を示す量の如く、陛下の世

高脚踊で衝突

不穏文書を贈る

大典奉祝豫行中

三十人頭大型 米少佐夫妻

四

平

街

金川八時三〇分

(=)

の 5見られてあるが急激なる 健脱しより急能されてゆくし 間の間絶全く成り密部新京の 一来往一前年より多からうさも少くからまいま云からうさも少くからまいま云かられてもあが、扨し本年中にはれてる系が、扨し本年中にはれてる家屋の新築はごんなものかりいま満洲風に於けら九年度邦人関係家屋衝換り担このき時別市政会署および調都によるま に來る解氷川をめがけて新くされそうもない状況であり更 は昨春いらい新築が精々竣工 四な特別市および朝市後を合 分多数に上る見込で昨年中にあるが、この怪か頻京輸入組 さるものさ見られ、かくて目の知恵は本年になるか、東年 領南力を合して全新京に約四 にするかまだ のものも相 これが完成さるし本年来には これが完成さるし本年来には 日本は たて満洲 間間の分の 住宅帳の観和に大いに役立つ であらうさ見られる であらうさ見られる

大典當日までの検束者

四百名に上

身許判明次第釋放

消費組合分配所

増築を痛感

一日の側下典 第日連に前日に 一日の側下典 第日連に前日に 情報等線線新京署に単動不着 名。内首都等線線新京署に単動不着 新京署五十名で、 留置場は頭 おった。これ等の検束者はいづれる厳重取輌の結果身 はいづれる厳重取輌の結果身

入學考查 公學校の

附屬地を除いて三〇七七月

住宅難も緩和せん

有意のため巡岸休実する 大の三田は商業原校では乗る大 に、八の三田は商業原校では乗る大

校に掲示競表するこだけで終り採川者は四日朝貢

経営するさ

展女家出市内吉野町四 下日十一香地景淳方線女様真 近こさ朴立彦(一六)は一日午

(東京図語) 極東オリムピッ

支那へ代表派遣

・大倉を前に開州の選手の出 で我が経育総書は近く代表を フィリアピン表び支那に送り

上大致(ビセツル

榮に浴す 御大典祝賀御用酒納入の光

理化附近で 乗合以ス遭難 敷名重傷を資ふ 動心館七属間(通化を去る十一キョの遺跡)と進行中の果 台バスが路上に放置してあっ た場彈嫌のものに関れ、車体 の一部を終碎し、業容数名量 像を負ったがき 商詳細不明で ある

北鐵運賃値下

の八パーセント乃至二十五パの八パーセント乃至二十五パ

日せしむる意向を使いてるる トけ画幣ご同慢格さし終來金 トけ画幣ご同慢格さし終來金 トリープルの個格を引 「は同島要は形式上金ループルの保格を引 「は同島要は形式上金ループ はれてるる。

で曾はれてるる。 營口商銀過

更に臣氏の心を照鑑して臣 民の子孫に傳ふるならむ と希望す

爐銀拂出 三百九十五萬

資出物達成の爲金出物達成の爲の本氏派遣

(東支関油) 端州偏の権度大 智参加 問題に針 する日本 騒 の参加で現を期する具體的力 低を加する具體的力 法について協議の結果、出来 は個型自九十五萬三十大百五 ななしつもあるが、現在排出をなしつもあるが、現在排出 (香口國 四)過減班整期銀行 餘圓に達す 太田鶯口領事

▲大馬縣附近 100月 ◆大馬縣附近 100月 全名の他 100月 100月 100月

松内アナさん

▲七馬路附近

▲崇智翰附虹 官更住宅 100戸 集合住宅 大0戸 集合住宅 大0戸

大〇〇戸

人船町の小火 一日午後二時ごろ市内入船町 三丁目一ノー尋崑球氏力物景 小屋から出火したが新京消防 保がかけつけ消火に努めた結 県間五十六分韻火した。 損害 こ十層、原因は捨灰から引火

三角地帶の討伐で

校卒業生で日本留単を希望す場別和會ハルビン地方事務局で

發渡日

を表してうるが。 一日へ新京 の登僧に際し心からなる祝意

季天市政会署を終て新星帝に ・ たの加き質表を ・ たの加き質表を

(同局計畫科閱查)

中国のの大具領機放送のため 中国のの大具領機放送のため 中国のの大具領機放送のため 東京中央放送跡から派遣され で去る二十五日来京した松内 アナウンナーは一日顧天廣場 のマイクから常日の放送を無 のマイクから常日の放送を無 のマイクから常日の放送を無 ので三日中前十一時費飛行機で

教育所卒業生

奉天白露人

棒呈の賀表内容

樂銀行株金及び全会級號補充十四元餘にして、これには商 準備命並に健康整理委員會経 である

チブスミ剣明した、軽過良好 病院に入院中であつたが精団 一二十四日以米穀熱、雪口蒲罐 背泳新記錄 河津君の

五分州七秒六は 111日(土曜日) 新京自後の時の分 歴史御代権より全領中権)官廷内の民権より中間自後五時の分子供の時間自後五時の分子供の時間

の人間に就では早船田の山本忠奥教授の出馬を乞ふこさに恵見一致し、直ちに山本教授の出馬を乞ふこさに

排出総額の半額で製剤され

雪原預金学に振替てるる低の

至同五時四五分 ユニース (英格) 至前大時の分 ニュース (鮮斯)

自後大寺三〇分 精河至同七時〇分 無道狂者長 郷 九 昌 無道狂者長 郷 九 昌 全国大時〇分 (京京より) Carramentaria de la constitución de la constitución

外人配者園招待を受力を置いた外人配者園招待を受力を持たが人配者四十名を一番のようにおけると一番のように対けると 好をねぎらつた リューレマン群島を終た大 リューレマン群島を終た大 大汽の臺灣 (1) 動くよ太鼓(ビセツト作曲) 作曲 井上武士編曲) ・ンデリン合美 物域音樂をファイ曲) (1) 気兵(マタファイ曲) 指揮 高 津 敏 (1)个四〇章

(武井守戌作曲)

本店大連市森川酒館

₩話三八〇八章 「大 支 店

支

流石のルディ局長も途に决意

かの輸臭所権出動

上學說式典執行。縣下各

裏日本航路

金香松茶ャー | 杵 屋 ・ 大小・ 大丸町丸ン東江音 | 版

ドライクリー

ニング

0

の急告

午後一時三十分 四事衝神吐

らに戻き境内に製集する中 が満洲側の単校牛徒等さし 備官民小學校督通學校門學

中後三神 桑肯堂に代て帝政 護戒 雑官民会領慶祝祝 東流 雑官民会領慶祝祝 人者。返されたが宴に人る に先を経民三十八萬を代表 しての縣漫代鐘の祝詞日本 しての縣漫代鐘の祝詞日本 しての縣漫代鐘の祝詞日本 根から石質地方事務所是の 祝詞あゆ宴館さなるや縣長 代鐘の者頭を以て太補洲國 されてのる されてのる されてのる されてのる されてのる (管口網通) 大建誠船にては 素も四月一日より春間、真日 本航路を居口にまで延長し、 本航路を居口にまで延長し、 日本の は 日本 は 1 日 **新京入船町三丁旦二番**唱

判

决

御用は安心の出來る

等門店 熊本屋

· 情形四三五香

佐藤洋行開業

三度増和して和領職を理定を開かる経苗代金領署を

●病室産室完備

小 見 相 科

55

新京朝日通一九(日本省書西人二八番

1. 御氣持よる御座敷 そして御氣輕な… 電話四八八八番 船町四丁目十九 一三十人様心の御号 一向に特に側に鉄に

全機人の時間を 全機人の時間の分 全機人の時間の分 全機人の時間の分 を関うない。 全機人の時間の分 を関うない。 を関するので、 を可なので、 を 全に八時三〇分(原京より) (原京より) (原京より) ・ (東京より) ・ (大阪より) 東京和田の時間である。 各 富 皆様の さら品がませか。 生がままが、生か 自轉車の の安心して買へる店 柴町二丁目四ノ二 御用命は日

本 発 は 日本 帝 誠 政 帝 を 表 に 取し 私 は 日本 帝 誠 政 帝 を 代 表 致 し ま し て 之 に 参 列 す る し 時 か 野 必 を 返 し た で あ も ま す る し 時 か 野 必 を 返 す る 機 會 を 優 ま し で 表 を 表 す る 機 會 を 優 ま し た で ま を 表 す る 機 會 を 優 ま し た で ま を 表 す る の で と す る の で と す る の で

大典参列の所感を放送

としての組織機関を整へ人類 ・ に挙りましたのは固より ・ に挙りましたのは固より ・ に挙りましたのは固より ・ に挙りましたのは固より ・ に挙めの観線を開びつつ油門 ・ で が と下 一 数 苦 心 努力 し ・ に外なられ こ 信 す るので あり 和の基礎校に大成するに至り に配みて誠に感慨の無量なる

は、
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は
 は

今日議門談は 皇帝陛下の御 を確によりまして永久不變の りますが、建國の大義に則り もして我が日本帝地を協力概 で和さ人類の風社さに貢献せて で和さ人類の風社さに貢献せて であります。 でありますが、建國の大義に則り なして我が日本帝地を協力概 してものなることは今後 してものなることは今後

有ラニル中國ノ連回、終邦 カ員心以テ永切ヲ期スヘシ カ員心以テ永切ヲ期スヘシ

高性の難

職官無無職一馬有餘参列の職官無無職一馬有餘参列の

信機需國通)南泉政府に電込む時便七萬五千角のニューモーノ、カーテス、ライタ目、ピーク・カーテス、ライタ目、ピーク・カーテス、ライタ目、ピークーニナニ最複数の建立の独立の独立のを開催に到着した、同氏が今で経済機にはなれば単位と構を開発しているのでは済機にはなれば単位と表のでは済後にはなれば単位と表のでは済後にはなれば単位と表のでは済後にはなれば単位と表のでは、一般のでは済機にはなれば単位と表のでは、一般のでは、一

すすす。 が出来には一個の任命状には関係の中を針し宮内庁の任命状には宮内府の印を針し香味を附し関係を附し、 を発生官の任命状には宮内府の印を 会代官の任命状には宮内府の印を 会代官の任命状には宮内府の印を 会代官の任命状には宮内府の印を を持日を記入す宮内庁の所任状には宮内府大臣年月日を記入す の印を し国務機器大臣年月日を記入す宮の印を し宮内府大臣年月日を記入す宮内官に付ては宮内府大臣年月日を記入す宮内府の即任状には宮内府の印を し宮内府大臣年月日を記入し国務院 の印を し国務機器大臣年月日を記入しこに替名す 人力では宮内府大臣年月日を記入し国務院 の印を し宮内府大臣年月日を記入し国務院 の印を し宮内府大臣年月日を記入して世名す。

大田元小戦争第五號間務院官制中 大田元小戦争第五號間務院官 大田元小戦争第五號間務院官 小学・鉄第一戦を定り し」に支む ・技術・戦を定り ・技術・戦をたり通改 ・技術・戦をたり通改

正の件 中本の通改正す ・人し」を「身帝の親 を解すべし」に吸む ・機等「執政の端阁を ・人し」を「身帝の親 ・を解すべし」に吸む ・を解すべし」に吸む ・を解すべる」に吸む ・を解すべる」に吸む

ローローローロー

100回以上

で年月日を記入し之に署名 で年月日を記入し之に署名 で年月日を記入し之に署名 で年月日を記入し之に署名 で年月日を記入し之に署名 で年月日を記入し之に署名

本令・議協元年三月一日より 本令・議協元年三月一日より とを施行す とを施行す とを施行す の値文を改正するの件を裁可 機総元年三月一日より の値文を改正するの件を裁可 機能元年三月一日より

神名御墓御子三月一日 (本語) 一日 (本語) 「日本語」 「日本語

海德元年三月一日 斯特維斯大臣

閣する件

逆産處理委員會

中体大、八〇〇間以上 一〇〇回以下ノき 際任 三等 同 五、二〇〇間以上之、二 〇〇回以下ノき 際任 三等 同 二、二〇〇間以上之、七 〇〇回以下ノき 際任 三等 第任 三等

いたのでござります。どうぞ

恐れてか、夜の大戸をおう

キの他の関節は即打を食ふのを

持への方部から灯影さへ残らして

とちてしたが

るなかつ

資本は衛芹園からお棚にお師

動き込は間伸駆動がら出ると

意言宗兵衛に見窓られて飾って行

云ふと敗之丞は身支関して

すぐ足を聴がしい人間のあがつて

一年月日を

各国務権を

大大臣

大同元年数令事三十大戦遊鹿大同元年数令事三十大戦遊鹿大同元年数令事三月一日より大帝がは、明朝の諸府の諸府を経て遺産の足を発行する作業委員會官制戦北に関する件を表可し弦に之を会布せしむ

一一、帝室會計審查局關係 動是 特任 助化 面 香食官 頭任 以《應審 香官 頭任 馬官 委

委會 任

安心さすは、もち殴つたるの形に

の側、都合によつては収返してお

見て至らう。宗兵衛優只今立夫つ

たことを話しませんなんだなっ

侍從

動母第十七號

成绩元年三月一日 國務總 地大臣

逆產處理法

面住者

けれ間の三葉から、その窓へとあ

祭兵衛が門び職れ略勝へと引返

その種間の中にはきつと音兵衛の日は節龍翔音兵衛から耳にした。

らはれて出てゐたの

廢止に關する件

、法律命令の施行明日に関する件、政府組織法歴止に関する件

二、宮内市官制四、宮内市官制四、宮内市の官等体验四、宮内市の官等体验四、宮内市の官等体验四、宮内市の官等体验四、宮内市の官等体验四、宮内市の官等体验

改正の件

宮内官の官邸権給に続する件

改廢さ

れた諸法令

昨日迄發表以外の分

の三思賞臨はたの

Uŧ

日;

聖女

田

・関榜様辞大臣月日を一名の後御墓を じ番戦 に

| 対令第十1號 | 大同元年三月 | 大同元年三月 | である | である

を受ける。 をしてる。 をして。

日

改正の件法制局官制中

即

位

改元

0

部書と

官制法令

制定改廢

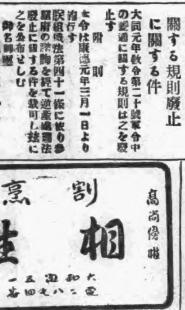
本令は職器元年三月一日よりを裁可し弦に之を公布せしむ。 御 御 題 一郎 第一日 日本の件を裁可し弦に之を公布せしむ。 御 御 題 上の件を裁可し弦に之を公布せしむ。

2左の官制: 令の制定並に改廢を行び水日料を以て國務総理大臣副告にけさせられたが。同時に即位改元韶曹の漢章を見、及政府では宮内中の大計を捌つ兵譲總元年三月一日、新皇帝陛下には別報の如く即位

三月一日附公布されたもの

郡大臣

期する規則廢止 軍令中の變通に 軍令中の變通に



:D

格 本令は廉徳元年三月一日より とを施行す を動中攻正の件を裁可し茲に でおり、 では原徳元年三月一日より では原徳元年三月一日より こを施行するを終すする。 各級官部中改正の件を裁判しな 都名号を 第名号を 一個の情報を では、 一名のでは、 一句では、 一句 元年三月一日 一、宮内府橋保 則 別及第一號 別及第一號

お野が吐力へ登つた節は、早速知鑑作に相成った。それでは宗兵町 宗兵衛が無いたお料を行り

枝くやうに云ふく、田之田は味 宗兵衛とお小夜は、同時に云つ ります。それを、あの家の歌人にとります。それを、あの家の歌戸 (から云ふ客になつたのだとない 統が知つて怒り出し り寝込んでゐるのを、忙しいと云 ある若い女殿人二人が、肩架にな 一人は血を吐いて死に、一人 すつたもん

電話三人四二番同市場內支店

電話三一九一番

類響にはらつて家に摩泊りさしてひます。この月の始めころ能間を るのが判つてみても 切らすで、常田賓から職人をひどのは、命神の豚にこの上なしの信 いと申して。見す 頭ひ職人の中に女も大戦をります とり扱いので肝利でこかります 申して。見ず(その者が成っていると、仕事の手がのろ 慢を出して了 聯軍拳長春堂

文度を開へ出した。

つた。抽者此處にゐるのに知らん人の家の打こはしか、世は悪うな

い高のり香

語注會請 **遠**大店 本 等中华田安東斯

食



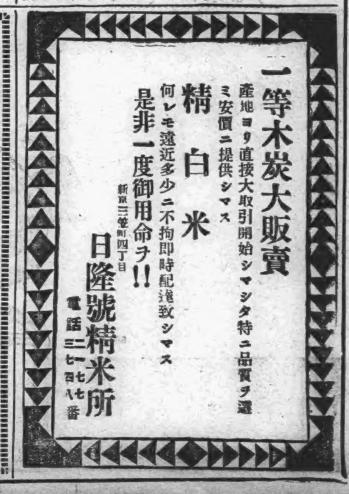


「あ」その事か、それならこ



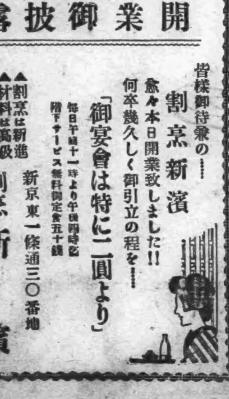






披御 業 開

何卒幾久しく御引立の程を飲み本日開業致しました!! 割烹新 **帽下サービス無料側定食五十銭** 毎日午頃十一時より午後四時色 割烹



磨燬ノ亦行ラ

各家庭の健康を保障する 一年のライオン協麿は常に 一年の健康は副職として 一年の健康は副職として

頂

日毎で磨鹵ンオイラたれ優質品 ばて保に夫丈を齒き磨くよを齒 にか朗々日れら得てしずせ期は康健 すま來出が事るす動活くし々雄

ライオン協麿 本鋪

合株 社式

大阪名古屋

88-57